

2019年度海外研究員成果報告書

1. 氏名 人間力創成総合教育センター 語学教育プログラム (英語)
講師 加藤 由崇
2. 出張期間 2019年4月6日 ~ 2020年3月23日
3. 出張先 リーズ大学 教育学部
4. 所在地 Leeds, LS2 9JT 英国

研究課題：「探究的実践」に基づく英語授業の研究

研究成果：

本研修の目的は、学習者と教師がともに実践・研究を創造する「探究的実践」(Exploratory Practice) (Allwright & Hanks, 2009; Hanks, 2017) という授業研究のあり方を探究することであった。

近年の外国語教育では、「真に包括的な実践者研究」の7原則に基づき、学習者と教師、研究者らがともに実践・研究を創造する「探究的実践」と呼ばれる実践者研究が注目を集めつつある。しかし、日本国内での探究的実践の研究事例はいまだ限られており、「そもそも何をしてよいかわからない」という教師の声や、探究的実践は「自己満足に終わりかねない」という研究者の批判もある。これらの課題は国内外を問わず共有されており、今後さらなる実践・研究の積み重ねによって、探究的実践に基づく具体的な実践者研究モデルの構築を行う必要がある。そこで本研修では、「探究的実践」に精通し、外国語教育における実践者研究を牽引するリーズ大学の Judith Hanks 博士とともに、1年間の集中的な共同研究を進めた。本研修の成果は、以下の通りである。

(1) 論文の執筆，書籍の編集

Hanks 博士との共著論文の執筆 (計 3 件) を中心に、単独での論文寄稿 (計 3 件)、書籍の編集 (計 2 件)、大学の英語授業のための教材及び高校の検定教科書の執筆・編集作業を行った。これらの研究成果の多くは、2020 年度中に国内外の出版社から刊行される予定である。

(2) 学会発表

マンチェスター（英国）とオタワ（カナダ）で開催された国際学会（BAAL Conference, International Conference on TBLT），リーズ大学で開催された実践者研究に関する国際セミナー（BAAL–Cambridge University Press Seminar）にて研究発表を行った。

(3) ネットワークの構築

実践者研究に関するウェブサイトの構築（<http://www.exploratorypractice.org/>），「探究的実践」に関心を抱く世界の 30 余名の研究者が参加するメーリングリストの作成，SNS での関連情報の発信など，研究ネットワークの構築を進めた。また，Hanks 博士の取り計らいによって，英国及びブラジルにおいて「探究的実践」を創造した Dick Allwright 博士との対面を果たし，さらに共著論文の企画を検討することができたことは幸いだった。

(4) 授業・セミナーへの参加

リーズ大学で開講された合計 5 種類の授業への定期的な参加（EDUC 1051: Language, Learners and Society など），当該分野の著名な講師陣を招いた学内外のセミナーへの参加（1 年間で合計 11 件に参加），英国を拠点に当該分野を牽引する研究者ら（Maggie Kubanyiova 博士など）と定期的なミーティングを行った。

(5) 大学院生向けの講演

研修最終月の 3 月には，英語教授法について学ぶ大学院生を対象とした授業（TESOL Forum）において 90 分間の講演を行った。また，同内容を収録したオンライン教材を Mediasite によって授業とは別に作成し，新型コロナウイルスの状況下で授業に参加できない学生に向けて配信した。

(6) その他

研修中に日本の学会誌（*Learning Learning*）からインタビューを依頼され，研修内容について言及した。<http://ld-sig.org/wp-content/uploads/2019/10/kato-nicoll.pdf>

今後は，この研修で得た知見を存分に活かし，引き続き研究を進めるとともに，本学学生のための言語教育の推進に努める所存である。